

せざるべからず。植林は、住民に建築材料及燃料を供給するのみならず、氣候の調和と水源涵養との要素なれば、漸次之を以て不毛の地を征服せざるべからざるなり。

### 第九節 地勢結論

以上一般の地勢に就ては、略其の要領を叙述したるものゝ如し。今や之を總括して一言するの贅疣に非ざるを信ず。

詮し來れば新疆の地形は、所謂大陸的にして、其の山野河湖俱に豪宕龍大、悠悠逼らざるの觀あり。看よ海拔一萬四千尺乃至二萬一千尺の大山脈は、二大系統と爲りて、東西七百五十里、南北四十里より八十里の地域に連り、其間より大小許多の河流を迸出し、而も其中に渺茫たる大沙漠地を包容するに非らずや。

山脈は即ち天山、崑崙の二大系統に出でざるは無く、其の外見と實際とは、又豫想の外に出づるもの有り。予は前後二回、天山を超越せしが、其の始め山麓より仰て嶺上を望むや、轟々雲霄に挿み、争てか能く之を越え得むを疑はしめたり。既にし

大陸的地影

其の山